① カムフラージュ＊作戦その1

葉っぱに化ける

色もかたちも葉っぱにそっくりの虫がいます。
葉っぱのように平たくなって、じっとうごきません。

クイズ Q コノハムシは、からだが葉っぱそっくり。さらに葉っぱに化けるために、枝にとまるとき、くふうをしています。ア、イ、ウのどれ？

ア せなかを地面に向ける。イ おなかを地面に向ける。
ウ 地面に横向きになる。

こたえ ア コノハムシは、せなかを地面に向けて、あお向けにとまるよ。そのわけは、6ページを見てね。

＊ カモフラージュともいう。風景にまぎれこんで目立たなくし、発見されにくいようにする方法。

葉っぱに化ける虫いろいろ

コノハツユムシ（マレーシア）

ヒラタツユムシ（マレーシア）

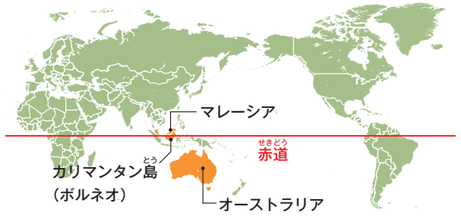
カレハバッタ（マレーシア）

コノハバッタ（マレーシア）

コノハゼミ（オーストラリア）

葉がくれの術

からだを葉っぱのように見せかけて、
天敵の目をごまかす虫たちです。



4～5ページのオオコノハムシはここにいるよ！

オオコノハムシ（マレーシア）

コノハムシは熱帯アジアからオーストラリアに何種類もいるけれど、葉っぱによくにているのはメスだけ。すんでいる木の葉っぱを食べて、生長につれ、からだの色がその葉っぱや背景の色そっくりにかわるとかんがえられているよ。天敵に見つかっておそわれそうになったら、自分で落ちて落ち葉になりきる。木をのぼるときも、風にそよぐ木の葉をまねて、からだをゆらしながら歩くんだよ。うごきまで葉っぱにそっくり！

せなかを地面に向けてとまるわけ

おなかがわから光をとおすと、おなかの部分がほそくすきとおり、せなかがわから見ると葉脈*のように見える（写真左）。ぎゃくにせなかがわから光をあてて、おなかがわから見ると、からだの中心の太くなった部分が見える。（写真右）。

＊葉っぱにあるスジのようなもの。ヒトの手の脈（血管）のように見えることから「葉脈」とよばれている。葉脈は水ぶんや、えいようをはこび、葉をささえる。

オオコノハムシ
はねは、葉脈のようなもようになっている。

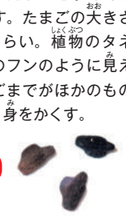
ひみつはここに！

内臓とはねのうらがわが白く、おなかがわから入った光は、ここで反射して内臓を白く光らせ、その白い光がはねによってぼかされ、せなかがわから見たときに内臓のかげを消す。

虫に食われた木の葉のかたちにそっくりのオオコノハムシ。

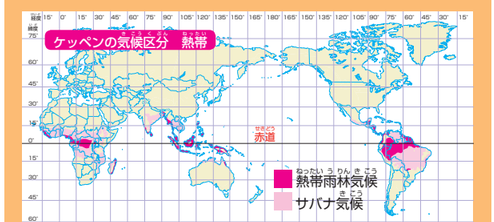
コノハムシは葉っぱにぶらさがったままたまごをうんで地面に落とす。たまごの大きさは7mmくらい。植物のタネか、動物のフンのように見える。たまごまでがほかのものに化けて、身をかくす。

実物大



• もっと知りたい •
熱帯の森林

熱帯で見られる森林は、とくに「熱帯雨林」とよばれます。いつも温度と湿度が高く、雨もたくさんふります。巨大な葉の木から、小さい葉の木まで、さまざまな種類の木が生えそだち、1年中いつも葉をつけている木のほかに、つる植物やコケがまとわりついている木など、さまざまな種類の植物がまざりあっています。



アジア、アメリカ、アフリカの赤道付近に分布し、面積では地上の3％くらい。そこに、地球上の生き物の種の半分以上（昆虫の種だと約90％）がいるといわれている。

葉っぱによって、もようがことなるオオコノハムシ。

④ カムフラージュ作戦その４

カマキリは、かくれんぼの天才！

天敵から身をまもることとはべつの目的で「化けてかくれる」虫もいます。

クイズ

カマキリが身をかくす目的は、つぎのうちのどれでしょう。

- ア 天敵に見つからないようにして、あとをおいかける。
- イ 天敵が近づいてきたら、急にとびだしておどろかせる。
- ウ エサとなる虫をとらえて食べるために待ちぶせる。

こたえ ウ カマキリは、気づかずに近づいてきた小さな虫を強力なカマでいっきにとらえて食べる。えものをとらえるスピードは0.05秒。まわりの世界にすがたやかたちをにせて、まちぶせしているのだ。

左の写真には
ぼくのなかまが７ひき
かくれているよ。
見つけて！

かくれ名人のカマキリいろいろ

キノハダカマキリ

カレエダカマキリ（マレーシア）

エダカマキリ

マルムネカレハカマキリ（マレーシア）

マルムネカマキリ（エクアドル）